



みどりのアスパラガス

北広島市しょうがい児者を持つ親の会
発行責任者 加藤裕子
令和元年8月発行 第226号

夏が来たと思ったら、この暑さ。北海道に住む私達、なかなかエアコンの設置に踏み切れず、暑さと闘っているご家庭も多いのかも。自分の体調の変化をちゃんと伝えられない我が子、ホントの所、どうなの？どれだけ分かってあげられているだろう。

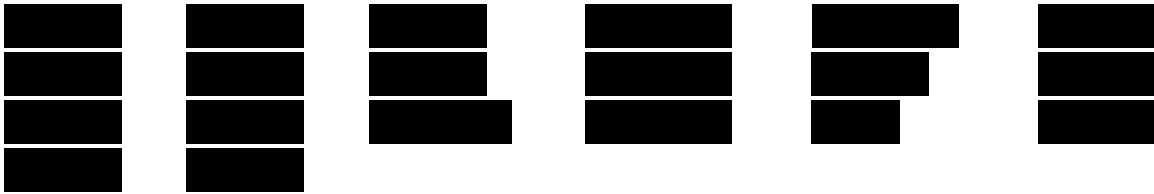
とにかく、あともう少し、まめに水分補給をして、頑張りましょう。



～賛助会員ご入会ありがとうございました～

(順不同・敬称は省略させていただきます)

< 北海道札幌養護学校共栄分校 >



療育キャンプに参加して

令和元年7月13,14日に恒例の療育キャンプに行ってきました。今年は、8家族23人。ボランティアさん、9人。実行委員さん、14人。総勢46人でした。

7/13日は、午前中生憎の雨でした。ギリギリまで皆、晴れてくれるのを願っていましたが、叶わず海水浴を断念して、プールになりました。それでも、子供達は楽しく過ごしていました。

今年は、乳幼児の初参加のご家族があり、可愛い乳幼児さんに癒されました。当会からは、今年のキャンプが最後となる会員さん。普段なかなかお会い出来ず、唯一毎年キャンプで会えるのが楽しみだったのですが、残念に思います。キャンプファイヤーで、火の精になり、お母さんと笑顔の姿が印象的でした。

2日目は、天候に恵まれて、旭山動物園に行く事が出来ました。白熊の堂々とした姿や、手長猿の見事な雲梯遊びについつい興奮してしまいました。この日は、北海道唯一の鉛細工士さんが来ており、いろいろな動物の飴を目の前で作ってくれました。リクエストも受け付けてくれ、集合まで時間がギリギリの中、マイペースな我が息子は怪獣をリクエスト。目で鑑賞した後は、しっかり味も楽しんでいました。

今年もお世話になった、社会福祉協議会の方々、教育委員会の方々、各事業所の皆様、ボランティアの皆様、感謝申し上げます。



仲上



専門用語を使わない 障がいのある子の「親なきあと」の「お金」の話 ～親として「行動」したこと「サキヨミ」すべきこと～に参加

7月3日 講師:鹿内幸四郎氏

「親なきあとのお金の話」がタイトルでしたが、親なきあとのことではなく、もっぱら成年後見制度を否定し、見ず知らずの後見人に自分や、我が子の財産を管理されることはイヤではないですか？」と語り、成人を迎える前に 親権を利用した”任意後見契約の たすき掛け”を行う事を勧めていました。

「たすき掛け」が良くわかりませんでした。そんな公正証書が作成できるのか、とても疑問に残りました。

成年後見制度の目的は、ただの財産管理のみではないはずですが、それを真っ向から否定する登壇者は初めてでした。

「お金」が解決すれば、「親なきあと」に安心できるとは到底思えないと、つくづく思いました。(S)

道央フロック肢体不自由児者福祉研修会 in 札幌

日時 令和元年 9月4日 水曜日 午前 10時30分～午後2時
 場所 札幌市身体障がい者福祉センター 3階 大研修室(札幌市西区24軒2条6丁目1-1)
 研修テーマ 地域で暮らしていくためにどのようなサービスを使いますか？
 参加料金 1人 500円(昼食代含む)
 *参加 申し込み締め切り 8月20日まで、山崎 080-1871-7325へお願いします。



余暇支援活動

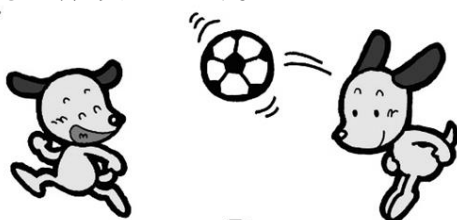


いつも「行きたい！」という声が出ていました果物狩りをメインに日帰り旅行を企画しました。

今回は洞爺湖周辺でぶどうなどの果物狩りと昭和神山での活動をしたいと思えます。たくさんのご参加お待ちしております！



- 日程 9月15日(日)
- 集合時間 夢プラザ 8時45分 中央公民館 9時00分
- 参加費 対象児者 無料 大人1名 1500円 当日バス内で集めます(昼食は付いていません。)
- 持ち物 各種手帳
- 参加申し込み プリントをご確認下さい。
- 締め切り 8月23日



6月15日(土)、福祉バスで輪厚児童体育館へ皆さんと行きました。
久しぶりに、体育館でゲーム‘だるまさんがころんだ’をしました。
‘ペタンク’では1回くらい勝ちました！！一番楽しかったです。



(KLUC の皆様には本当にお世話になりました。

第64回北海道手をつなぐ育成会全道大会名寄大会

7月27日(土)～28日(日)、片道3時間弱の道のりを車を走らせ、息子と2人で行って来ました。私は、C分科会「暮らす」。息子は、チャレンジに参加しました。

1日目の日程は、名寄市立大学で全て行われたので、ギリギリに到着したにもかかわらず、会場移動の負担がなく、時間に余裕がありました。講義室は沢山あるし、良い会場を選択されたなあ、と思いました。

分科会は、午前が、基調報告で、あかしあ障害者総合相談支援センター(旭川)の管理者 植田氏から「豊かな暮らし」とは、どういうものが、生活の場で使えるサービスや、事例をあげて、どんなコーディネートをして来たかをお聞きました。「暮らす」という事を考える時、相談支援員として大事にしている事は、生活は人それぞれ…何でも屋である事。価値観の違いを認める事。その人にとって何が重要なのかを想像してコーディネートする。横の繋がりを強化する事と、おっしゃっていました。遠慮しないで、もっと相談してみて、子供の事を理解してくれる人を増やしていけばいいのだなと思いました。

シンポジストは、ダウン症の息子さんを育ててきた、お母さん。二人目は、58歳でご自分も軽度の知的障害を持ちながら世話人として働いている方。そして、もう一人は、苫小牧でサービス管理責任者をされている方で、それぞれお話をいただいた後、質問があり、同じ道内でも地域によって移動支援などのサービスが、使えなかったり、地域格差があるのを知りました。子供を想う親の思いを大事にし、支援計画を進めていきましょう、本人や家族が、何を求めているのか考える機会になりましたと、まとめていただきました。

記念講演は、毎日新聞社 論説委員 野澤和弘氏で、虐待の事件、制度の移り変わり、意思決定支援など、涙を拭く時があれば、映画の作品で良かった物を紹介してくれたり、ご自分の息子さんの事、出会った方々の事などをお話してくれました。親として、もう一度、息子のことをゆっくり見てみて、本人の気持ちを大事にしているか振り返ってみようと思いました。

チャレンジは、音楽ワークショップで、バケツで太鼓を作ったり、お面やビニールの衣装を作ったりしました。最後にステージで発表もしました。もち米が有名な地域らしく、餅つき体験もありました。学校の先生にお会いしたり、彼なりに楽しく過ごせたのではないかと思います。来年は、北見です。

中川





娘が2歳から小学生になるまでにお世話になった、「子ども発達支援センター」が、福祉センターから、北広島エルフィンビルに移転となった。

当時は「母子通園施設 つばめ学級」と呼ばれていた場所に、小さな弟も一緒に、通園していた。1歳半検診で発達に疑問符？が付いてからお世話になった場所である。

娘はバナナグループ(りんご？だったかな…)で、実に濃い時間を、先生たちと共に過ごしていた。大きなボールプールや大きなトランポリンに心躍らせ、楽しむ娘の様子を今も覚えている。

あの頃お世話になった先生たちは今も現場でお仕事されており、時々お会いするが、あの頃と変わらずにキラキラしている。

私はあの場所で、障がいのある子どもの多くの親たちと知り合い、助け合い、仲間を作ることができた。「懐かしい」あの場所がなくなるのは感慨深いものがある。

最後にもう一度、私もボールプールで心地よく埋もれたかったな…と思う。(笑)

斉藤



お世話になりました

* お願い *

親の会よりご案内の研修会、講演会等へ、参加をされた方は人数把握のため役員まで



※この会報は会の趣旨に賛同下さる方々に私たちの活動を広く紹介する目的で発行しています。

他の目的に使用しない様、また、破棄する場合は取り扱いにご注意下さる様お願い致します。

◆会報担当 中川 斉藤 井上(野)◆

【活動報告】

- 6月15日 KLUC レクに参加(6名)
- 6月22日 講演会「自閉症児者への対人関係の形成」参加(斉藤.國岡.南)
- 6月26日 北ひろしま福祉のつどい 第2回企画委員会(井上)
- 6月29日 北海道自閉症協会 定期総会(仲上、斉藤)
- 7月3日 障がいのある子の「親なきあと」の「お金」の話～親として「行動」したこと「サキヨミ」すべきこと～聴講(加藤.斎藤)
- 7月10日 自立支援協議会(子ども)研修会参加(加藤)
- 7月11日 役員会
- 7月13～14日 療育キャンプ参加(仲上.高橋.大西)
- 7月17日 北ひろしま福祉のつどい 第2回実行委員会(井上) 学習会打ち合わせ(葛西.中川)
- 7月18日 自立支援協議会(生活)出席(加藤)
- 7月26日 グリーンフェスティバル説明会出席(仲上)
- 7月27～28日 北海道手をつなぐ育成会全道大会 名寄大会参加(中川)

令和元年度会費納入のお願い

- 年会費は 6,000 円です。
- 会費は青空会、または振込みにて納入してください。
- 中途入会の方は入会月から3月までの月数分の会費となります。
- 会費に関するご相談は会計まで宜しくお願いします。



< お振込み先口座

北海道銀行 北広島支店
(普)115-0431123

北広島市しょうがい児者を持つ親の会

会長 加藤 裕子